

キラキラ保育園に 入園をお考えの 皆様へ



園長 長沼啓示の自己紹介と考え方

このたび、新規事業として'内閣府認定の企業主導型保育事業'を通じて、苦小牧キラキラ保育園を設立致しました、園長の長沼啓示と申します。

いきなりですが...私は、ここ数年一つの不安を感じていました。『日本の未来はどうなるのだろう』と。元々、外資系の金融機関に勤めていたこともあり、色々な情報が入ってくる中で、そして仕事柄様々なご家庭の方々とお話をさせていただく中で、その思いを抱いているのは私だけではなかったのだと感じました。特に小さいお子様がいらっしゃるご家庭は「この子達が大きくなった時、大丈夫なのかなあ」とか、違う角度からもっと具体的な不安を聞くと「子どものために稼がなきゃ（働かなきゃ）ならないのに、まだ小さすぎてどこもあずかってもらえなくて...」と言う声も。

まさに現在の日本が抱える待機児童問題がダイレクトに聞こえてきました。子どものために...と考える親御さんたちは考え方が様々です。印象に残ったのは、

- ・子どもが小さいうちはずっと一緒にいてあげたい。
- ・子どもが大きくなったときのために今のうちから働いて蓄えをしておきたい。
- ・子どもに何不自由なく生活させてあげたい、決して贅沢させるではなく必要なものは与えたい。

考え方は人それぞれですが、今の私が出来ることは何だろう...

私は自分の子どもたちに、いつも「人の役に立つ人間になるんだよ」と言っています。

それを自分に問い詰めたときに、色々考えた結果、親御さんが安心して仕事に集中できる保育園をやろうと決めました。

世の中にはたくさんの保育園がありますが、どんな保育園がいい保育園だと言えるでしょう？ その価値はどこで決まるのでしょうか？

私はこう思っています。保育園の価値は【どんな保育士さんがいるか】で決まると。

「子どもたちの笑顔が私たちの生きる糧」、そしてこの園の理念でもある「保護者様の忙しさを少しでも減らしたい」って、そんな想いを抱く保育士で苦小牧キラキラ保育園は成り立っています。

保育士という仕事は、端から見ると楽な仕事ではありません。私自身が設立を考え始めて心から感じたことです。精神的にも肉体的にも、結構きつい仕事です。幼い命を預かる仕事なので責任の重さもはかりしれません。こころが折れそうになるときだってあるでしょう。

でも、その中でも悩み、壁にぶつかったりしながらも、子どもたちへの愛情を決して失わない保育士がいる保育園は、子どもたちにとっても保護者にとっても、絶対に「いい保育園」なのです。

園長である私の役目は、この苦小牧キラキラ保育園に集うスタッフ全員がキラキラと輝く毎日を送れるよう、その環境を整えることだと思っています。

そうすることで、来てくれる子どもたちも自然にキラキラと輝き、保護者の方々も安心して仕事に集中でき、それはこの住み暮す地域の発展に繋がると考えます。

そして将来、このキラキラ保育園で幼児期に大切な人間形成の基礎が成り、保育理念にもある 将来自律した、いい意味で自尊心を持つ人間へと成長する。そういう大人たちが増えていくと、この国の未来もキラキラ輝くと強く信じています。

長沼啓示



北海道苦小牧市
弥生町2-3-1



0144-78-3500